



新しい朝

府中市立府中第十中学校
学校だより No. 1
校長 伊藤 淳
令和 8年4月30日

言葉と心のつながり

私たちは日々、多くの言葉を用いて生活しています。朝の「おはよう」、帰りの「さようなら」、友だちとの会話、授業中のやり取りなど、交わされる言葉の一つ一つは、人の心と深く結びついています。

温かい言葉をかけられると、心も温かくなります。励ましや承認の言葉は、元気や勇気につながります。一方で、きつい言葉や強い言い方は相手の心に残り、消えにくい傷となることもあります。言葉には、それほど大きな力があります。

学校生活の中で、誰かに声をかけたときに「ありがとうございます」と自然に返ってくる場面があります。その一言は、受け取る人だけでなく、伝えた人の心も明るくしてくれます。忙しいときに助けてもらったときや、準備を分担してくれたとき、何気ない気づかいに気づいたときなど、「ありがとう」は人の心を支え、互いをつないでくれる言葉です。

「ありがとう」は、特別なことをしてもらったときだけの言葉ではありません。小さな親切や、日々の当たり前前の行動の中にも、感謝を伝える機会があります。また、この言葉は相手だけでなく、伝えた自分の心も温かくしてくれます。感謝の気持ちを言葉にすることは、気持ちを前



国語「アイスプラネット」言葉の広がり

向きに整え、人とのつながりを深めることにもつながるといわれています。

反対に、人を嫌な気持ちにさせる言葉が続くと、心は疲れてしまいます。嫌な言葉をいちばん近くで聞くのは自分自身です。自分が発した言葉は、自分の耳にも入ってくるためです。だからこそ、相手のよいところに目を向ける言葉を、日頃から増やしていきたいものです。例えば、今日から仲間の「よいところ」を一つ見つけ、言葉にして伝えてみてください。

言葉を選ぶことは、相手の心に思いを寄せることでもあります。心が明るくなる言葉を大切にし、一人一人の「ありがとう」を重ねていくことで、互いを思いやる雰囲気为学校全体に広がっていきます。これからも、皆さん一人一人の言葉の力で、温かい言葉が行き交う学校をつくっていきましょう。

【サポートルーム】

府中市では、不登校児童・生徒等への支援の一環として、各学校において、校内で別室指導を受けることができるように「サポートルーム」を設置しています。設置目的は次の2点です。

（１）不登校の未然防止として

さまざまな理由から教室に入りづらさを感じている生徒に対して、サポートルームを活用し、居場所づくり等を行い、欠席の長期化を防ぎます。

（２）不登校生徒の学校復帰のために

不登校状態が続いている生徒に対して、サポートルームへの登校から始め、学級での授業に少しずつ参加してみるなど、徐々に学校へ登校するきっかけづくりとします。

本校では、月曜日から金曜日までの9：00～14：00、サポートルームの支援員が配置されています。また、学習については自学自習が基本となっています。サポートルーム利用の希望がある場合は、担任までお申し出ください。

【学校と生徒を支援する巡回教員について】

府中市立中学校に様々な場面で学校と生徒を支援する巡回教員が配置されています。巡回教員は、生徒一人一人が、「学校が楽しい」「学校に通いたい」と思えるような魅力ある学校づくりに向けて校内体制を整えることや、学校及び教室に通いづらさを感じている生徒の居場所づくりを行うなど、幅広く支援を行います。

本校は巡回校となり、拠点校の府中第八中学校から巡回教員が木曜日に来校します。

【スクールカウンセラー相談受付について】

今年度のSC濱 洋子先生が着任しました。開室日は木曜日です
生徒以外にも保護者の皆様からの相談も受け付けます。下記の直通電話か担任を通じて、お申込みください。

●相談室直通電話（開室日のみ） … 042-571-0858

●開室時間 9：30～17：00

●開室日

4月…	9日	16日	23日	30日
5月…	7日	14日	21日	28日
6月…	4日	11日	25日	
7月…	2日	9日	16日	

【保護者の皆様】

本校では、確実な対応と情報共有のため、保護者の皆さまからの電話連絡は、原則として教職員の勤務時間内 平日8時15分～16時45分をお願いいたします。

現在、教員のなり手不足が課題となる中、教育の質を守るため働き方改革にも取り組んでいます。教職員が安定した環境で教育活動に向き合うことが、お子さまへのよりよい支援につながると考えています。

保護者の皆さまもお仕事等でお忙しいことは承知しておりますが、趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。